

# — 通信添削 —

“知っている”だけではなく、知識を業務に活かしていくために、2冊のテキストを読み込み、通信添削で確認していただきます。研修の事前学習教材として、または、業務研修後のフォローアップにお役立てください。月に一回のゆとりのある3カ月コースです。実務経験豊富なフィナンシャルバンクが採点し、質問等にお応えしたうえでご返送いたします。

## マーケット感覚の醸成 第1回 通信添削解答用紙

所属金融機関	所属
返送先住所	
ふりがな	
氏名	

フィナンシャルバンクインスティテュート 株式会社  
〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 3F TEL:03-3548-0470

### \* 通信添削の作成・提出のご注意

解答の際、返送先住所、氏名などの漏れのないように記入してください。

点数 / 100

学習の感想・質問

講師からの講評

### 〔問題〕

下記の文章のうち、正しいものには○を、正しくないものには×を記してください。

- 問1. PBRとは、株式の割安状態の目安であり、会社が解散した場合の1株当たりの解散価値がわかる。
- 問2. PBRが低ければ低いほど、その会社の株価は割安ということになる。
- 問3. PBRとは、1株当たりの純資産に対して、株価が何倍に買われているかを示している。
- 問4. PBRが0.98倍の場合、仮に1株89万円で購入し会社が解散した場合、投資家の受取金額は100万円になると考えられる。

### 〔問題〕

下記の文章のうち、正しいものには○を、正しくないものには×を記してください。

- 問1. 日経平均は「主要銘柄の平均株価」という位置付けで、225銘柄の平均の「日経平均225種」が一般的で、『日経225』と呼ぶこともある。
- 問2. 東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所に上場している全銘柄の時価総額（株価×発行している株式総数）が、基準日である1968年1月4日の時価総額を100として、どれくらい増減したかを示し、〇〇ポイントで表記される。
- 問3. 長期金利（10年利付国債）は、例えば、債券を買う人が多く、債券が値上がりすれば金利は下がり、債券を売る人が多く、値下がりすれば金利は上昇する。
- 問4. 短期金利は、物価や景気を注視する日銀の金融政策の下にある。
- 問5. 株価純資産倍率は、企業の純資産、すなわち、企業価値に見合った株価かどうかを判断する指標である。
- 問6. 企業の純資産は、企業が解散した場合の株主持分を、1株当たりの純資産（純資産÷発行済株式総数）＝株価÷PBR（＝株価÷純資産倍率）で算出することが推定
- 問7. PBRが1倍以下の銘柄は、割安であることが推定

問1	問2

Q1. アメリカの住宅価格が下がったら、世界経済が金融危機になったのはなぜでしょうか。あなたは、今後、指標等どのようなことに注目していますか。

※ 次のキーワードはできるだけ使ってください。

⇒サブプライム 住宅指数 FFレート 金利 等

